

Vol.144 「学生時代の制服の評価」

街で見かけた母校の制服を見て自身の学生時代を思い出すことがあります。明治・大正・昭和・平成という時代を経てもなお、学校制服が着続けられているのは何故でしょうか。今回は、10～60代を対象に学生時代を振り返ったときの制服の評価、制服の良い点や必要性について調査しました。

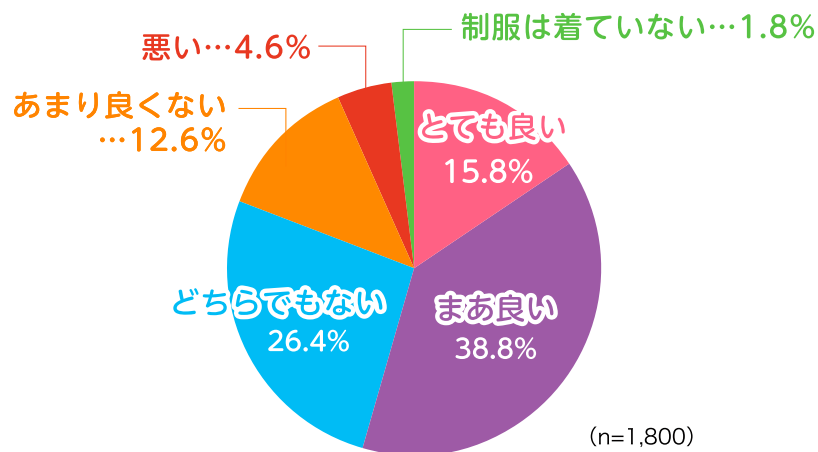


調査概要

調査対象：10～60代の男女 1,800人
調査方法：インターネットリサーチ
実施時期：2017年7月

Q 1. 制服の評価

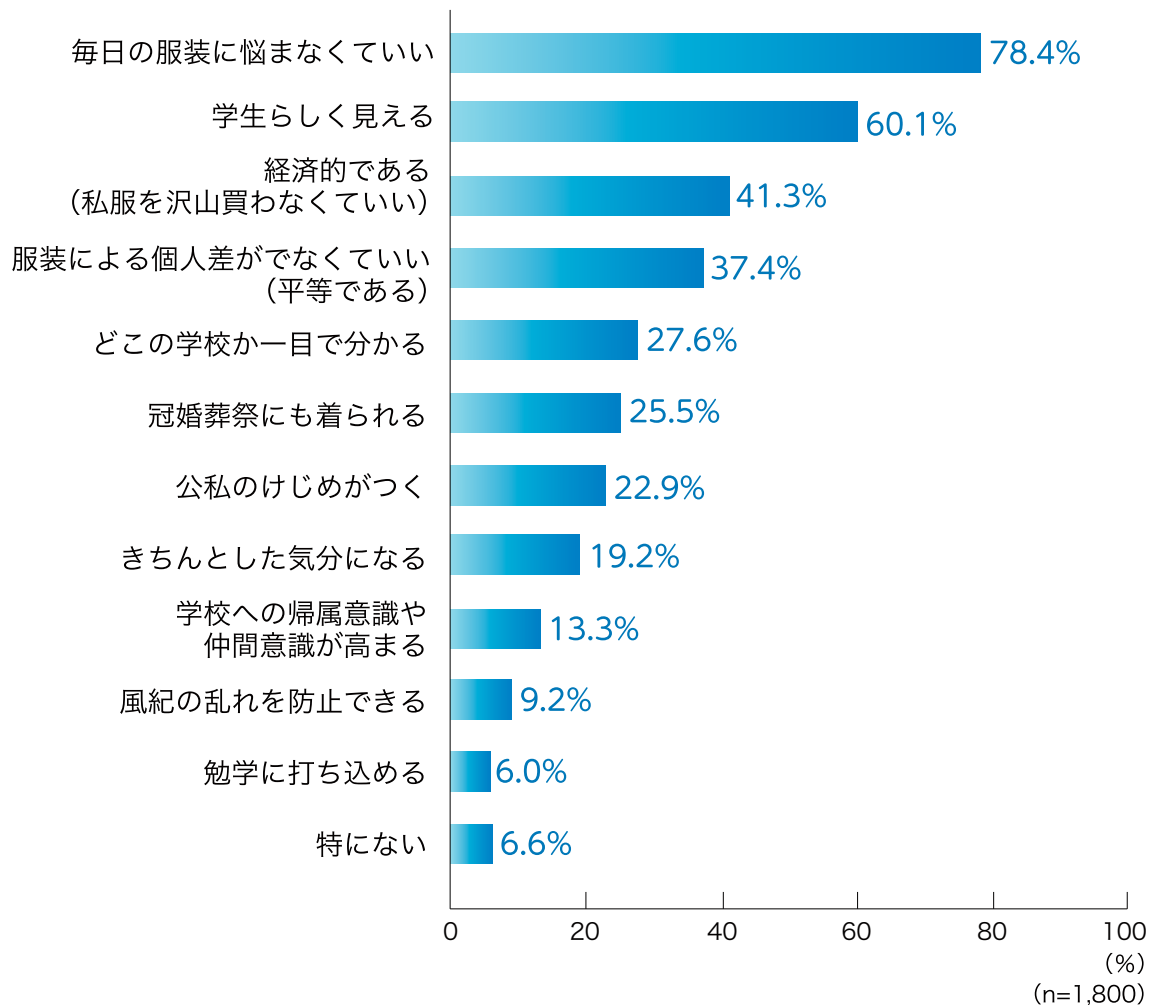
自身が着ていた学校制服について、今振り返ってどのように思うかという質問に対しては、「とても良い」(15.8%)、「まあ良い」(38.8%)を合わせると半数以上が良いと回答しています。



【図1】 あなたが着ていた学校制服について、今振り返ってどのように思われますか。(単数回答)

Q 2. 制服の良い点

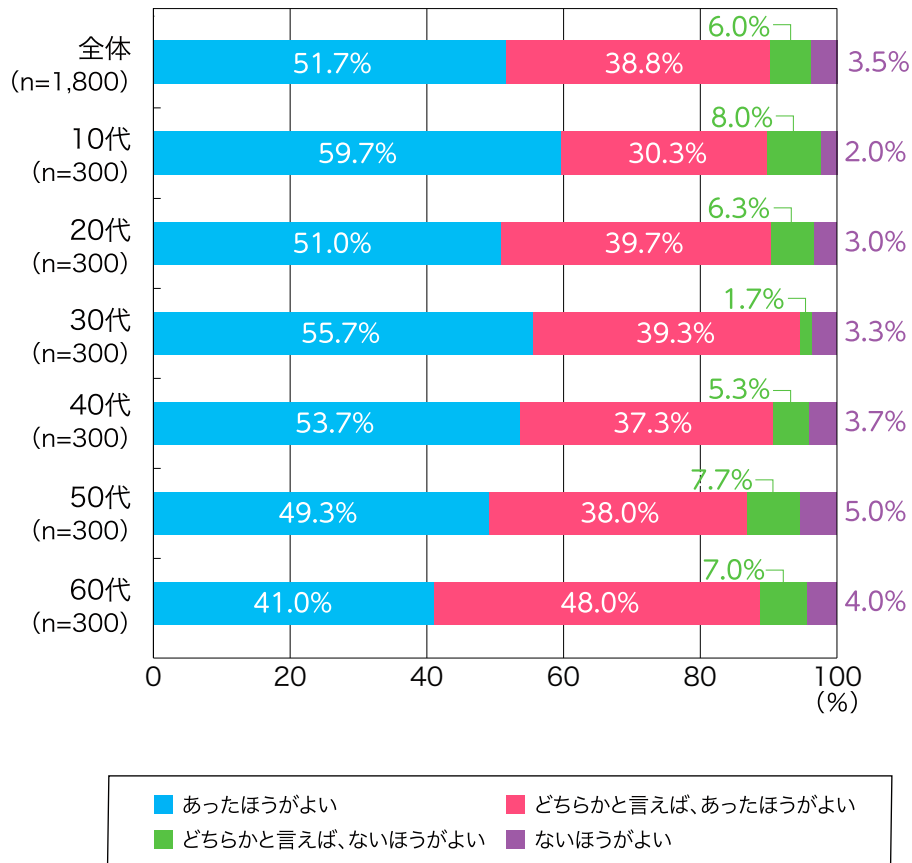
10～60代の男女が思う制服の良い点は、「毎日の服装に悩まなくていい」(78.4%)が最も多く、次に、「学生らしく見える」(60.1%)、「経済的である(私服を沢山買わなくていい)」(41.3%)、「服装による個人差がなくていい(平等である)」(37.4%)、「どこの学校か一目でわかる」(27.6%)など、利便性や経済性が良いという回答が上位を占める中、学生や学校を象徴することへの良さもあげられました。




【図2】 学校制服の良い点はどのようなことだと思いますか。(複数回答)

Q 3. 制服の必要性

学校制服があったほうが良いという回答を年代別にみると、10代は「あったほうがよい」(59.7%)という回答が約6割で、「どちらかと言えば、あったほうがよい」(30.3%)を合わせると、10代の約8割が制服の必要性を感じています。一方、60代は「あったほうがよい」(41.0%)という回答が約4割となり、若い世代は中高年世代に比べて制服の必要性を感じている人が多くなります。



【図3】 学校制服はあったほうが良いと思われますか。(単数回答)

 まとめ

小学校で制服のある学校は全国的には少ないですが、中学校・高校の大半は制服があり、学生時代を振り返るときに自身が着ていた制服も一緒に思い出すことが多いようです。

今回、10～60代の男女を対象に、自身が着ていた学校制服について、今現在、振り返ってどのように評価するかを調べたところ、「とても良い」(15.8%)、「まあ良い」(38.8%)を合わせると半数以上が良いと回答していました。また、10～60代が思う制服の良い点は、「毎日の服装に悩まなくていい」(78.4%)、「経済的である(私服を沢山買わなくていい)」(41.3%)などの利便性や経済性の面をあげる回答と、「学生らしく見える」(60.1%)、「どこの学校か一目でわかる」(27.6%)など、制服によってスクールライフが想起されるという回答も多く見られました。そして、制服の必要性の有無は、10代の「あったほうがいい」(59.7%)に対して、60代は「あったほうがいい」(41.0%)という回答があり、若い世代は制服の必要性を上年代に比べてより強く感じているようです。

制服は、10～60代のいずれの世代にも支持をされていることから、学生や学校のシンボルであり、スクールライフを共に過ごす特別な服装と言えます。学生時代にしか着られない学校制服で沢山の楽しい思い出を作ってほしいものです。

毎月最終
火曜日
更新

カンコーホームルーム ～学生を読み解くデータ集～

カンコーホームルームは、学生を取り巻く環境や子どもたちの意識・ライフスタイルについて、多角的に調査・分析し、その結果をお届けしています。

ホームページでは、今回ご紹介した調査データ以外にも様々な情報を掲載しております。

<http://kanko-gakuseifuku.co.jp>